



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8291 URL <http://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 米澤 領一 (TEL) 03-5496-5203
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	62,973	△9.5	1,591	△23.7	1,297	△26.4	1,008	△20.9
28年3月期第2四半期	69,548	0.7	2,085	53.8	1,763	70.8	1,275	107.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 958百万円(△11.9%) 28年3月期第2四半期 1,087百万円(65.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	15.22	—
28年3月期第2四半期	19.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	74,530	33,217	43.1
28年3月期	75,388	32,718	42.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 32,143百万円 28年3月期 31,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△4.0	4,500	6.6	4,000	11.0	3,500	3.2	52.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	66,635,063株	28年3月期	66,635,063株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	319,799株	28年3月期	389,378株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	66,271,404株	28年3月期2Q	66,379,268株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用情勢の改善が見られたものの、個人消費は依然として足踏み状態にあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力である自動車関連事業における全国の新車販売台数は、軽自動車の前年割れが続いており、前年同四半期比1.0%減、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数につきましても、前年同四半期比0.6%減となっております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の新車販売台数は、軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」(OEM車)の販売停止に加え、販売再開後もリコールが重なったこと及びカナダ子会社を事業譲渡したことなどにより、12,076台(前年同四半期比3,125台減、20.6%減)となりました。

これらの結果、売上高は62,973百万円(前年同四半期比6,575百万円減、9.5%減)、営業利益は1,591百万円(前年同四半期比494百万円減、23.7%減)、経常利益は1,297百万円(前年同四半期比466百万円減、26.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,008百万円(前年同四半期比266百万円減、20.9%減)となりました。

軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」の販売停止及び販売再開後のリコールなど、厳しい状況の上半期となりましたが、「お客さまのお取引機会の最大化」、「お客さまのニーズに合わせた提案型営業による付加価値販売」が定着した結果、当社グループの重要な指標である営業利益は例年並みとなり、一昨年同四半期を上回る実績となりました。

【第2四半期連結累計期間の連結営業利益実績推移】

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1,658百万円	1,552百万円	2,600百万円	1,356百万円	2,085百万円	1,591百万円

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動車関連事業

販売停止しておりました軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」(OEM車)について、東京日産自動車販売㈱、日産プリンス東京販売㈱、日産プリンス西東京販売㈱の三販売会社において、お客さまへの迅速かつ誠実な対応を最優先に取り組んでまいりました。

同二車種の販売停止などにより新車販売台数が減少し、売上高は59,062百万円(前年同四半期比7,499百万円減、11.3%減)、セグメント利益(営業利益)は1,765百万円(前年同四半期比580百万円減、24.7%減)となりました。

なお、このセグメント利益(営業利益)は、販売停止後において既存商品(登録車)の拡販等に取り組んできたこと、自動車整備事業が前年を上回る実績で推移したことに加え、8月24日に発売となった新型セレナが好調に推移したこともあり、例年並みの実績となっております。

【自動車関連事業の第2四半期連結累計期間のセグメント利益実績推移】

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1,838百万円	1,670百万円	2,779百万円	1,552百万円	2,346百万円	1,765百万円

② 情報システム関連事業

データセンターなどの第三世代ビジネス(クラウド・ビッグデータなど)は堅調に推移するとともに、ハードウェアビジネスが伸長したことにより、売上高は3,702百万円(前年同四半期比951百万円増、34.6%増)、セグメント利益(営業利益)は169百万円(前年同四半期比134百万円増、388.3%増)と増収増益となりました。

③ その他

その他の事業である不動産事業につきましては、外部顧客への賃貸契約が減少した結果、売上高は208百万円(前年同四半期比27百万円減、11.7%減)、セグメント利益(営業利益)は65百万円(前年同四半期比3百万円減、5.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は74,530百万円（前連結会計年度比858百万円減、1.1%減）となりました。主な内容は、現金及び預金が3,395百万円及び有形固定資産が703百万円増加し、商品が2,024百万円及びその他流動資産が2,903百万円減少しております。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は41,312百万円（前連結会計年度比1,357百万円減、3.2%減）となりました。主な内容は、1年内返済予定を含む長期借入金が1,332百万円及びその他流動負債が928百万円増加し、買掛金が2,969百万円、長短リース債務が332百万円、未払法人税等が183百万円及び賞与引当金が135百万円減少しております。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は33,217百万円（前連結会計年度比498百万円増、1.5%増）となりました。主な内容は、配当金の支払が466百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,008百万円計上したことにより利益剰余金が542百万円増加し、その他の包括利益累計額が102百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました「平成29年3月期の通期連結業績予想」を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

連結子会社である東京日産コンピュータシステム(株)(情報システム関連事業)において、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、契約期間にわたり均等に収益をもたらすクラウドサービス事業が拡大してきていること、また、今後もクラウドサービス事業に関する収益の拡大に向けた事業投資を見込んでいることもあり、当該事業に係る資産の重要性が高まる見通しであることなどを総合的に勘案し、使用期間にわたり均等に費用配分を行うことが、より適切に事業の実態を反映できるものと判断したことによるものであります。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24百万円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,330	8,726
受取手形及び売掛金	6,476	6,663
商品	8,729	6,705
仕掛品	212	314
貯蔵品	55	54
繰延税金資産	1,319	1,074
その他	5,731	2,827
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	27,852	26,362
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,324	6,473
リース資産（純額）	7,338	7,009
土地	16,742	17,181
その他（純額）	6,089	6,534
有形固定資産合計	36,494	37,198
無形固定資産		
のれん	1,354	1,309
その他	157	172
無形固定資産合計	1,511	1,482
投資その他の資産		
投資有価証券	3,297	3,135
繰延税金資産	2,783	2,774
その他	3,806	4,063
貸倒引当金	△356	△485
投資その他の資産合計	9,529	9,486
固定資産合計	47,536	48,168
資産合計	75,388	74,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,542	11,573
1年内返済予定の長期借入金	336	832
リース債務	551	506
未払法人税等	431	248
賞与引当金	1,342	1,206
資産除去債務	160	160
その他	5,355	6,284
流動負債合計	22,720	20,811
固定負債		
長期借入金	244	1,080
リース債務	6,794	6,506
繰延税金負債	125	114
退職給付に係る負債	12,294	12,317
資産除去債務	302	301
その他	189	181
固定負債合計	19,949	20,501
負債合計	42,670	41,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	256	256
利益剰余金	17,137	17,679
自己株式	△131	△107
株主資本合計	31,013	31,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,162	1,051
退職給付に係る調整累計額	△497	△489
その他の包括利益累計額合計	664	562
非支配株主持分	1,040	1,074
純資産合計	32,718	33,217
負債純資産合計	75,388	74,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	69,548	62,973
売上原価	52,555	47,056
売上総利益	16,993	15,917
販売費及び一般管理費	14,907	14,325
営業利益	2,085	1,591
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	42	50
為替差益	—	※1 47
雑収入	46	21
営業外収益合計	90	119
営業外費用		
支払利息	88	75
支払手数料	126	119
貸倒引当金繰入額	86	130
雑損失	109	88
営業外費用合計	412	413
経常利益	1,763	1,297
特別利益		
固定資産売却益	—	16
投資有価証券売却益	99	0
受取補償金	—	※2 516
特別利益合計	99	533
特別損失		
固定資産除売却損	53	60
投資有価証券評価損	—	3
たな卸資産評価損	—	※3 195
特別損失合計	53	260
税金等調整前四半期純利益	1,810	1,570
法人税、住民税及び事業税	321	224
法人税等調整額	204	287
法人税等合計	526	511
四半期純利益	1,284	1,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,275	1,008

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,284	1,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△109
為替換算調整勘定	△71	—
退職給付に係る調整額	△86	8
その他の包括利益合計	△196	△101
四半期包括利益	1,087	958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079	906
非支配株主に係る四半期包括利益	7	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)の営業外収益に計上しております「為替差益」は、前連結会計年度におけるカナダ子会社の事業譲渡に伴う清算配当金等に係る為替レート差であります。
- ※2. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)の特別利益に計上しております「受取補償金」は、三菱自動車工業の燃費認証値に関する問題が公表されたことによる軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」(OEM車)の販売停止に伴う逸失利益等に対する補償金であります。
- ※3. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)の特別損失に計上しております「たな卸資産評価損」は、三菱自動車工業の燃費認証値に関する問題が公表されたことによる軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」(OEM車)の中古車相場下落に伴う在庫車両に対する評価損等であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,561	2,750	69,312	236	69,548
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	193	194	—	194
計	66,562	2,944	69,507	236	69,743
セグメント利益	2,346	34	2,381	68	2,449

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,381
「その他」の区分の利益	68
全社費用(注)	△363
四半期連結損益計算書の営業利益	2,085

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,062	3,702	62,765	208	62,973
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	226	229	—	229
計	59,064	3,929	62,994	208	63,203
セグメント利益	1,765	169	1,935	65	2,000

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,935
「その他」の区分の利益	65
全社費用（注）	△408
四半期連結損益計算書の営業利益	1,591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(法人税法の改正による減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(自発的な減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、連結子会社である東京日産コンピュータシステム㈱（情報システム関連事業）において、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の「情報システム関連事業」のセグメント利益は24百万円増加しております。